

### 教材開発 導入コース

	教材	指導要領	ビデオ化	講師
EBMの必要性	レジュメ, PP	解説	可	長谷川 誠
EBMの構築	レジュメ, PP	解説	可	小島 隆
ケース	1-10ケース	教育技法	不可	
	ケースの扱い方	アイスブレイキング	差し込み方のビデオは製作可能	福岡 誠
	PECOの説明	ケースの説明, 解答		
資料収集法 up to date	レジュメ, PP, サンプル	解説	可	福岡 誠
clinical evidence	レジュメ, PP, サンプル	解説	可	福西 隆
Cochrane	レジュメ, PP, サンプル	解説	可	津谷 誠
PubMed	レジュメ, PP, サンプル	解説	可	山城 誠
ガイドライン	レジュメ, PP, サンプル	解説	可	長谷川 誠
論文読み方	サンプル, PP	解説	可	山城 誠
評価	サンプル	解説	可	福岡 誠

### 応用コース

批判的読解	ケース40前後 読解のプロセス	解説書	可 不可	山城 誠
	PP, レジュメ, テキスト			
生物統計	レジュメ, PP, テキスト	解説	可	藤江 誠
臨床疫学	レジュメ, PP, テキスト	解説	可	藤江 誠
医学判断学	レジュメ, PP, テキスト	解説	可	長谷川 誠

TOT

教育技法	成人教育 TOT	解説	可	福岡 誠
------	----------	----	---	------

### 教科書 一つの本にまとめる

	教材	指導要領	ビデオ化	講師
EBMの必要性	レジュメ, PP	解説	可	長谷川 誠
EBMの構築	レジュメ, PP	解説	可	小島 隆
ケース	1-10ケース	教育技法	不可	
	ケースの扱い方	アイスブレイキング	差し込み方のビデオは製作可能	福岡 誠
	PECOの説明	ケースの説明, 解答		
資料収集法 up to date	レジュメ, PP, サンプル	解説	可	福岡 誠
clinical evidence	レジュメ, PP, サンプル	解説	可	福西 隆
Cochrane	レジュメ, PP, サンプル	解説	可	山城 誠
PubMed	レジュメ, PP, サンプル	解説	可	山城 誠
ガイドライン	レジュメ, PP, サンプル	解説	可	長谷川 誠
論文読み方	サンプル, PP	解説	可	山城 誠
評価	サンプル	解説	可	福岡 誠
1 導入コース	導入コースの構築			山城 誠
2 応用コース				
批判的読解	ケースの扱い方 読解のプロセス	解説	可 不可	山城 誠
生物統計	レジュメ, PP, テキスト	解説	可	藤江 誠
臨床疫学	レジュメ, PP, テキスト	解説	可	藤江 誠
医学判断学	レジュメ, PP, テキスト	解説	可	長谷川 誠
TOT				
教育技法	成人教育 TOT	解説	可	福岡 誠

平成16年度厚生労働科学研究費補助金  
(医療技術評価総合研究事業)

### 臨床研修病院における 患者の安全向上に寄与する EBM教育企画の開発

### 臨床研修医の課題

	定型患者	複雑患者	例外患者
①早期(申し送り)カンファレンス(毎日)	診療科の主要症状・病態について標準的治療法、診療マニュアル、診療ガイドラインを参照する。	POSIに照って初期アセスメントとプランを提示し、臨床上の疑問を定式化する。(EBMのステップ1)	POSIに照って再評価した症例の問題点から、臨床上の疑問の定式化を促す。(EBMのステップ1)
②症例検討会(毎週)	症例資料に引き継ぎ、病態について標準的治療法、一般的な治療等から必要事項を抽出し紹介する。	症例についてProblem List, Case Map等を作成し、症例/シリーズやEBM二次文献を中心に引用する。	臨床上の疑問を定式化し、Medline, など、EBMの一次文献や症例報告に当たる。(EBMのステップ2)
③文献抄読会(1~2回/月)	主要疾患について新たに設定された診療ガイドライン、RCT等を抄読会の題材として紹介する。	問題に応じて、二次文献から抄読会用に適切な一次文献(RCTなど)を選んで異例的に紹介する。(EBMのステップ3)	選んだ一次文献について研究手法、統計処理の妥当性についても検討する。(EBMのステップ3)
④退院時サマリーの記載	標準フォーマットを作成し、参照したガイドラインを明記する。	主なProblemについて二次文献を引用した内容を記載する。	結果・時化した一次文献についても言及する。
⑤学会地方会での症例発表	研修病院における症例を撮影し、症例/シリーズとして発表する。	臨床上の疑問の定式化から文章の神髄にいたるEBM実践プロセスを示す。	EBM実践プロセスだけでなく例外症例を提示することの意義を示す。

POSI 両院別症例検討会システム

### 指導医に求められる指導内容

	定型患者	複雑患者	例外患者
①早期(申し送り)カンファレンス(毎日)	標準的治療、マニュアル、診療ガイドライン等を参照し、とした「標準的治療法」の定式化を促す。	研修医の提示する初期アセスメントとプランに照って「問題の定式化」を促す。	症例をPOMARで提示させアセスメントとプラン作成について指導する。可能であれば「問題の定式化」を試みさせる。
②症例検討会(毎週)	症例資料の基本を把握するとともに標準的治療、マニュアル、診療ガイドライン、症例等を紹介するよう指導する。	症例報告のProblem List, Case Mapについて指導するとともに定式化された問題点に照って参照した文献を紹介させる。	定式化された問題点に照って参照した文献を紹介させる。例外患者については症例報告も誘導させる。
③文献抄読会(1~2回/月)	主要疾患について新たに設定された診療ガイドライン等を抄読会の題材として評価・時化させる。	症例に照って検索した二次文献から抄読会用の一次文献を選んで異例的に紹介させる。	症例に照って検索した文献を参照しながら、症例の神髄な点について討論させる。
④退院時サマリーの記載	標準フォーマットを作成し、参照したガイドラインを明記させる。	主なProblemについて二次文献を引用した内容を記載させる。	結果・時化した症例報告等についても言及させる。
⑤学会地方会での症例発表	研修病院における症例を撮影し、Case seriesとして発表させる。	症例報告をEBM実践プロセスの形で示させる。	EBM実践プロセスの中で例外症例の意義を説明させる。

**プロダクト:**

- クリニカルエビデンス日本語版:
  - ……第3版まで(日経メディカル)
  - 乃木坂指導医講習会
  - ……臨床研修指導医講習会として認定
  - (2004年2月、同11月)
  - 研修医を対象としたEBMワークショップ
  - ……福岡敏雄先生、山城清二先生etc.

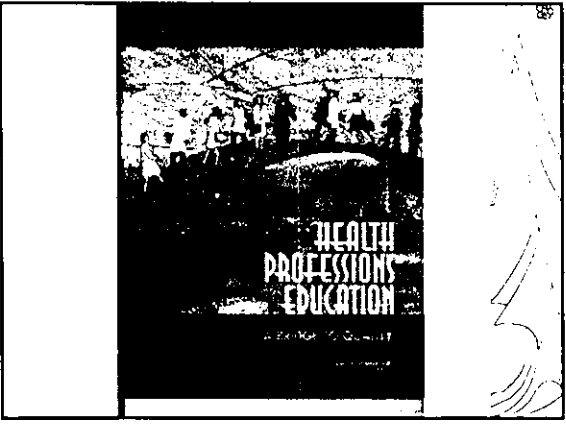
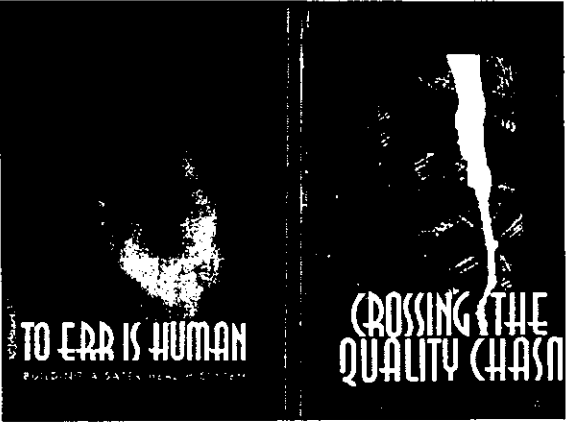
これまでの開催場所:  
 佐久総合病院(長野県内複数施設)(2回)  
 天理よろづ相談所病院(2回) 麻生飯塚病院(2回)  
 湘南鎌倉病院 国立病院東京医療C

**今後の課題:**

- 定型化された講習会(WS)の普及
- 指導医ガイドラインの作成
- 教材:
  - 書籍(教則本、教科書等)出版
  - 電子媒体の活用
  - HPの充実

平成17年度厚生労働科学研究費補助金  
 (医療技術評価総合研究事業)

臨床研修医が  
 初期研修の2年間に修得すべき  
 EBM教育カリキュラムの開発

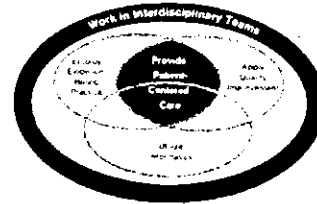


## 5つのCore Competencies

① 「質への架橋—医療職教育」(IOM 2003)

- ② Provide patient-centered care
- ③ Work in interdisciplinary teams
- ④ Employ evidence-based practice
- ⑤ Apply quality improvement
- ⑥ Utilize informatics

Overlap of Core Competencies for Health Professionals



## 研究班(2005):

- |           |         |
|-----------|---------|
| ① 小泉 俊三 * | ② 武澤 純  |
| ③ 長谷川敏彦   | ④ 北井 啓勝 |
| ⑤ 長谷川友紀   | ⑥ 多治見公高 |
| ⑦ 葛西 龍樹   | ⑧ 上野 文昭 |
| ⑨ 名郷 直樹   | ⑩ 鎌江伊三夫 |
| ⑪ 吉村 学    | ⑫ 福岡 敏雄 |
| ⑬ 武藤 正樹   | ⑭ 山城 清二 |
| ⑮ 津谷喜一郎   |         |